

## 耐久性に優れたカラーベース アイライナーを中心に提案

大成化工

顔料分散体やコーティング材の製造・開発を強みとする大成化工は、C

ITE JAPAN 20

23において、アイライナー向けの着色剤「カラー分散体」とUVケア用分散体「サンスクリーン

分散体」を紹介した。高品質な着色用分散体と機能性分散体を受託製造し

てきた経験を活かし、自社商品で化粧品業界に本格的に参入する。

特に注力する「カラー

分散体」は、顔料を分散させたカラーベースで、優れた耐久性・耐水性が最大の特長だ。

同社では、2019年頃にも化粧品向けの着色剤を開発したが、発色性や商品の保存安定性と、

水や皮脂への耐性を両立させることが難しく、他社商品と比較して優位性を確立しきれなかった。

そこで、顔料を分散させる樹脂に着目し改良に取り組んだ。グループ会社である大成ファインケミカルと共同で専用樹脂を設計した上で、今回のアイライナー向けのカラー分散体を開発したところ、より安定して顔料を均一に発色させつつ、水や皮脂、摩擦への強い耐性を引き出すことが可能

になった。各種評価試験では、改良前と比較して性能面で大きな向上がみられ、他社商品と比べても優位性が確認できたため、自社商品としての発売を決めた。

ベースとなる15色から組み合わせさせて色を作り、化粧品で求められる幅広い発色を実現する。CITE JAPANでは、アイライナーやマスカラなどアイメイク品に加え、水性ネイル向けとしても提案し、人体や環境への負荷が低いことも相まって、高機能アイテムを開発するOEM企業を中心に引き合いを集めた。「開発では、最終製品の機能性向上を第一に考えている。『カラー分散体』では、アイライナーにとっての必須条件である『化粧崩れせず1日中持続する』という点を実現するために、耐水性・耐久性に優れた商品を開発した。すでにサンプルワークを開始しており、CITE JAPANでも多数のお客様からサンプル依頼をいただいた」(同社)

ほかに、日やけ止めやベースメイクアイテムにUVカット機能を付与する「サンスクリーン分散体」を発売し、化粧品関連の商材で売上1億円の達成を目指していく。